



川崎大師 大本堂

川崎大師平間寺では、令和六年五月一日～三十一日の期間に十年に一度の御開帳が行われ、参拝した方には「赤札」が授与されます。

今回は、慈林薬師宝殿院と同じ真言宗智山派の大本山である

川崎大師の創建は平安時代末期まで遡ります。

川崎大師の歴史を紐解く

川崎大師の御開帳と、その時に授与される「赤札」についてご紹介していきます。

川崎大師平間寺の御開帳と赤札について

慈光

第78号 2024.1.1発行

宝殿院 川口市安行慈林954 TEL048(281)3321 FAX048(281)3305



無罪の罪で生まれた国である尾張(現在の愛知県)を追われて川崎へと辿りついた平間兼乗は、漁師となつて生計を立てながら、深く仏教に帰依し、特に弘法大師(お大師さま)を尊信していました。

平間兼乗が四十二歳の厄年の時に、夢の中に二人の高僧が現れ、「私は真言宗を開いた大師である。かつて唐に居たころ、厄除の自像を刻み、これを海中に投げ、末代有縁の衆生を救

うためにこの厄除けの大誓願を起しました。あなたは三宝(仏・法・僧)に深く帰依しています。そのため、海上の光輝くところに網を投げ入れてみてください。そこにはかつて私が海中に投げ入れた像があるはずですよ。その像を引き揚げて安置し、引き続き信仰を持ち続けたならば、あなたに起こっている災厄(無罪の罪)は無くなり、必ず仏の居る世界へと往生することができるようになります。」と言われたところで平間兼乗は目を覚まします。大変喜んだ彼は、夜が明けるのを待たずに身を清めて海へと繰り出します。海へと網を投げ入れ引き上げると、光り輝く木像が掛かっており、まさしく夢の中で言われたものだと確信します。この木像こそ、後の川崎大師のご本尊である厄除弘法大師です。

平間兼乗は拾い上げた大師像を本尊とし、自宅の近くに小堂を立てて、朝な夕なに供養を行います。そんな或る時、諸国を巡り歩いていた高野山の僧侶である尊賢上人は、川崎の平間兼乗が拾い揚げた大師像の話を目にします。

その後、平間兼乗の信力を讃えた多くの人々が、彼の名字を取り「平間寺」と呼ぶようになりました。現在に至るまで、多くの方々の諸願成就を叶える厄除弘法大師として信仰され続けています。



『江戸名所図会』

(6ページに続く)

初薬師大護摩修行(ご縁日)

令和5年1月8日 午後12時半から法話 13時より護摩修行

慈林薬師大護摩

慈林薬師では毎月8日ご信徒の諸願成就を祈り、護摩修行を行います。

護摩とは、薬師如来を御本尊とし、その前に壇を設け、さまざまな供物を捧げ、護摩木という特別なまきを焚いて御本尊に祈る真言宗の秘法です。

お護摩料

Table with 2 columns: 護摩料種類 and 金額. Includes 特別大護摩料 30,000円以上, 大護摩料 10,000円, 護摩料 5,000円, 護摩料 3,000円.

護摩願意一覧

Table listing various wishes such as 家内安全, 工場安全, 商売繁盛, 作業安全, etc.

川崎大師の御開帳について

記録に残っている最初の御開帳は、江戸時代にあたる宝暦元年(一七五二)に行われました。

(1ページより続く)

うになったのは実は明治十七年からです。

それ以前の大開帳は、住職一代につき二度行うもの、將軍家等の要請に応じたもの、お大師さまの御遠忌の年に行うもの、川崎から本尊厄除弘法大師像を移して行う出開帳の形式を取り、決まった間隔ではなく、不定期で行われて

いました。

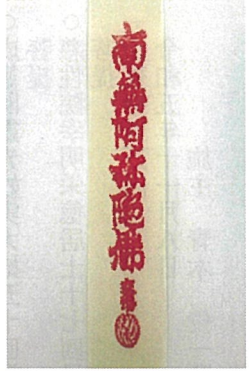
現在も十年に一度という貴重な機会ではありますが、江戸時代は今以上に川崎まで行くことが容易ではなく、開帳となれば逃すことのできない行事だったことは想像に難くありません。

それは、開帳時にのみ授与される「赤札」を手に入れる貴重な機会ということと、それ以上に当時の人には「赤札」の効験というものを強く信じていたのではないのでしょうか。

川崎大師の赤札授与について

先にも述べた通り、川崎大師では御開帳時に限って「赤札」が授与されます。この赤札は、お大師さま直筆と伝わる「南無阿弥陀仏」の書を版木にして刷られる「護符」です。

この「赤札」に書かれる「南無阿弥陀仏」という言葉は、「無量の寿命を具える」阿弥陀仏に帰依します」という意味があります。また、赤字で刷られていることにもしつかりと意味があり、経典の中に阿弥陀仏の体の色が「紅顔梨色(紅水晶色)」であることに由来しています。



川崎大師 赤札

赤札には、お大師さまの力と阿弥陀仏の力が宿っている霊験あらたかなお守りです。

現在は十年に一度開催されているこの吉縁を逃すことなく、ぜひこの機会に御開帳された本尊厄除弘法大師の参拝と、「赤札」の授与をされてみてはいかがでしょうか。

(副住職 憲寿記)

JAあゆみ野指定 川口市指定 葬儀のご用命は グリーン・セレモニー

当社の寝台車が病院へお迎えに行きます。

フリーダイヤル 0120-282-282

川口市本蓮2-22-9